

12/7(日) オンライン開催 最終案内です！

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No373
「リーダー育英塾カンファレンス2025」のご案内

2030年の教え方・学び方はどのようにになっているか
「中核的な概念等に基づく授業づくり」はどうなるのか/
全国学生調査で減衰傾向と出る大学生の学習を改善できるのか

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<https://smizok.com/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の研究委託を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

「リーダー育英塾カンファレンス2025」の概要

情報発信・助成事業

リーダー育英塾カンファレンス2025

11月上旬募集開始

電通育英会では「高大社連携に向けたトランジション教育改革」を高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年より少人数の参加者によるワークショップ形式の「リーダー育英塾」を7期に亘って実施しています。

その成果報告並びに教育関係者を中心とした人材育成関係者との情報共有の場として、今後のトランジションによる教育改革を担う人材育成の一助とすべく「リーダー育英塾カンファレンス2025」をオンラインにて開催いたします。

過去の「リーダー育英塾カンファレンス」の様子は[こちらからご覧いただけます。\(別ウインドウが開きます。\)](#)
[リーダー育英塾カンファレンス2022](#) [リーダー育英塾カンファレンス2023](#) [リーダー育英塾カンファレンス2024](#)



左：溝上 憲一（学校法人桐蔭学園 理事長）
右：中原 淳（立教大学 教授）

(監修) with
中原 淳（立教大学経営学部 教授）

<カンファレンステーマ>

「2030年の教え方・学び方は
どのようにになっているか」

- 日時：2025年12月7日(日)
10:00-12:30 (オンライン)

- 参加定員：200名程度

• 対象者

小学校・中学校・高等学校・大学等の教職員および教育関係者（学校教育に関心をお持ちの企業人事・経営企画担当者のご応募も歓迎いたします）

• 参加申込み

電通育英会ウェブサイト



プログラム

10:00~10:10	電通育英会 遠谷信幸理事長挨拶 「電通育英会について」有井和久専務理事
10:10~10:20	本日の趣旨説明（溝上慎一先生）
10:20~11:00	【基調講演1】 「中核的な概念等に基づく授業のあり方－次期学習指導要領改訂に向けて」 石井 英真先生（京都大学大学院 教育学研究科 准教授）
11:00~11:40	【基調講演2】 「学生は大学でどう学ぶか－高大接続を踏まえて」 濱中 淳子先生（早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授）
11:40~11:50	休憩
11:50~12:20	講師を交えてのディスカッション（溝上慎一先生／中原淳先生） *質問は随時チャットで拾いながら
12:20~12:30	ラップアップ（中原淳先生） 終了／アンケート

※プログラムは、やむを得ず、変更になる場合があります。

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてくださると、回答の助けになります。

なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

